

異種金属極薄板レーザー溶接技術で未来を共創



製品・技術の名称 EV バッテリー向け 極薄アルミ × 極薄銅レーザー溶接技術

概要

当社は、0.05mm～0.2mmまでの材厚のステンレス材同士を貫通させずにレーザーで溶接する技術を確立しました。しかも溶接するだけでなく、その母材自体の強度まで耐えられる引張強度を実現し、さらに月産100万個を安定的に供給できる品質管理体制を構築しました。この極薄板レーザー溶接量産技術は他社にはない加工技術であり、現在最新のEVバッテリーに活かされています。その端子に求められるのはより薄い金属。EVバッテリーの端子には主に銅とアルミが使われており、この異種金属の極薄板溶接というニーズに応え、私たちは銅×アルミの極薄板レーザー溶接技術の開発に成功しました。

ここがポイント!



難溶接材を新聞紙程度の薄板でも強度をもって溶接できる高度な溶接技術。EV バッテリー等の高機能化に貢献。

参考価格

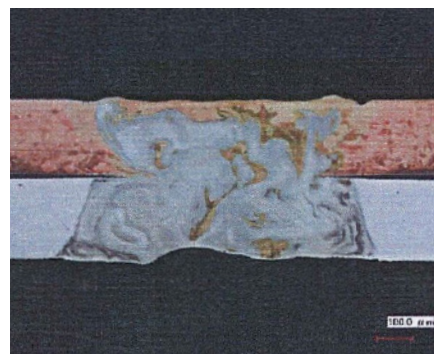
お客様の要望に応じて対応させていただくため要相談

企業PROFILE

Ⓚ 三郷金属工業株式会社

三郷金属工業株式会社

代表取締役社長：児島 貴仁
大阪府守口市寺方本通 2-13-17
Tel : 06-6992-3334 / Fax : 06-6992-3336
<http://laser-factory.jp/>



企業からの一言 / PRポイント

大手家電メーカー様により鍛えられた極薄板レーザー溶接技術と量産技術、品質管理能力、そして極薄アルミ×極薄銅の異種金属溶接技術をもって、これからは広く世界の未来に貢献したいと考えています。